

令和7年度 学校評価 自己評価書(後期)

1 学校の教育課題

○学ぶ喜びを知り、確かな学力を身に付けさせるために	○思いやりの心と自立・自制の心を身につけさせるために
○心身ともに健康でたくましい子供を育成するために	○学校力の向上

2 課題と改善策

評価の目安: 4=おおよそ80%以上達成 3=おおよそ50~79%達成 2=おおよそ25~49%達成 1=おおよそ24%以下達成

評価項目・観点		後期	成果・課題・改善策等		
重点 指導 項目	かしこく 教師の姿	① 目標を明確にし、まとめの充実した分かる授業・学力をつける授業、学力の定着に向けた授業改善(全教員による一人一授業)。 ・ 対話的な学びの研究推進、深い学びの場面設定、ICT機器の活用、単元テスト等の無答回答0・100点返却、質と量におだわる読書指導	3.1	③学習前に黙想を取り入れることで、落ち着いて授業に入ることができるようになった。今後も継続して取り組みたい。 ⑦廊下歩行では、少しずつ右側を歩くようになってきていると感じる。廊下の中央に貼っている白テープ貼りは、生活親善委員会で行っているが補修する時間が確保できていない。各学年のフロアの補修はその学年で行なっていたらと助かる。 ⑩危険予知能力を高めて自他の命を大切にしたい。	
		② 子ども一人一人の実態に応じた指導の充実を図る。 ・ 支援員等による支援体制の強化、計画的な支援と情報の共有	3.0		
		③ 基本的学習習慣を徹底する。 ・ 「3構え」の徹底、「学習の約束事」の徹底、家庭学習の充実	3.2		
		児童の姿	④ 話をよく聴き、学んだことをノートに整理するなどして、1学期の学力を身に付けることができたか。		2.8
			⑤ 前日に学習用具をそろえるなど、学習の準備をしっかりと行い、学習のきまりを身に付けることができたか。		2.9
			⑥ メディア(テレビ、ゲーム)を使用する時間の約束を守って、家庭生活を整え、毎日、家庭学習を行っていたか。		2.7
	やさしく 教師の姿	⑦ 学校生活での基本的生活習慣の確立を図る。 ・ きもちのよい挨拶、「はい」の返事、節度ある生活、作業終了後の後始末の見届け、静かな廊下歩行と校内での正しい過ごし方	2.6		
		⑧ 授業を要とした道徳教育・人権教育の充実を図る。 ・ いじめや差別・問題行動・不登校の防止、生命尊重・思いやりの育成、図書コーナーの充実、教育相談・アンケート等取組、関係団体との連携	3.0		
		⑨ ボランティア活動の充実を通して、自主的、実践的な態度を育てる。 ・ 「気づき、考え、実行する」、1活5本運動の推進(運動場、学級園等)	2.4		
		児童の姿	⑩ 気持ちのよいあいさつや返事ができ、丁寧な言葉遣いが身に付いているか。		2.8
			⑪ 自分の命を守るための手立てを理解して行動したり、他の命も大切にすることをもち、思いやりの態度で人に接したりすることができているか。		3.0
			⑫ 読書やボランティア・お手伝いなどの社会体験を通して、学年相応の豊かな心が育っているか。		2.9
	たくましく 教師の姿	⑬ 教科体育の充実と体力づくりの生活化に努める。 ・ 美徳心症、遊兵の活用、フットボール、縄跳び、1年・2年運動(補助運動)	2.9		
		⑭ 保健指導の充実を図り、健康で衛生的な生活を送れるようにする。 ・ 大きなけが・病気の予防指導、疾病治療の促進(家庭への連絡)、容儀指導の徹底、美しい姿勢、衛生的・美的環境の整備	3.0		
		⑮ 校内及び校区での安全・安心な学校づくりを展開する。 ・ 安全指導の徹底、危険予知能力育成、安全点検の定期実施と修繕、歩いて登校の推進	3.0		
		児童の姿	⑯ 外遊びやスポーツを通して積極的に体力づくりに取り組んでいるか。		2.9
			⑰ 健康診断結果を活かして治療したり、手洗い・うがい等を実践し、その他の病気の予防をしたり、健康に気を付けているか。		2.9
			⑱ 「早寝・早起き・朝ごはん」や「ハチツボネ」などにより、身なりや生活リズムを整えようとしているか。		3.0
教務	⑲教育課程に即して各教科・領域等の指導計画は完全に実施できたか。	3.6			
	⑳ テーマ研修に課題意識を持って意欲的に取り組み、日々子どもの指導に生かすことに努めたか。	3.1			
	㉑ 人権教育に対する認識を深め、偏見や差別を見抜く、豊かな感性や思考力を育てることに努めたか。	3.3			
	㉒ 一人一人の教育的ニーズを理解し、合理的な配慮をもとにして全教職員で指導する校内支援体制で臨むことに努めたか。	3.2			
	㉓ 情報セキュリティに気を付け、個人情報保護や著作権保護・危険性について指導しながら情報機器等を活用することに努めたか。	3.1			
生徒指導	㉔ 生活指導に関し、職員間の情報交換や緊密な連携、迅速で効果的な対応・継続的な指導に努めたか。(共通実践事項の徹底)	3.4			
	㉕ いじめが起きにくい・許さない環境づくりに心がけ、早期発見・迅速な対応・個人面談やアンケート等を通じた実態把握に努めたか。	3.4			
	㉖ 子どもとの語りや遊び、日記、普段の観察を通して個を深く理解し、個に応じた教育相談や適切な指導に努めたか。	3.4			
	㉗ 学活や児童会、各行事などの取組にあたりその目的や特色を踏まえ、子どもが所属感を深め、主体的な実践ができるように適切な支援に努めたか。	3.4			
	㉘ 読書生活の向上を図る指導や適切な図書館利用を通して、子どもの意欲・関心を高め、心豊かな子どもを育てられるように努めたか。	3.3			
保健	㉙ 身だしなみや衛生、食事のマナー、歯みがき等を指導し、望ましい食事のあり方を身に付け、偏食の指導に努めたか。	3.1			
	㉚ ごみ・節水・節電・リサイクルなどの環境に優しい活動に取り組んだり、子どもとの協働や巡回指導を通じ、清掃指導の徹底に努めてきたか。	3.1			
家庭連携	㉛ 保護者の十分な理解や協力を得るための具体的な手立て(学校だより、週報、HP、安心メール等)を講じ、相互に連携して指導を進めることができていたか。	3.3			
その他	㉜ 【服務規律、保幼小中連携、学校支援ボランティア等】○学校支援ボランティアの方々にお世話になった。○服務規律の厳正な確保に努めた。 ○交通ルールの厳守 ○皇徳寺中・宮川小と合同学習会が実施できてよかった。教育課程反省にも書いたが、9月は暑かったので、熱中症リスクの低い時期に来年は実施できたらと思う。○2学期も2回、教頭先生や保護者の方々の協力により、生活科の学習で校外学習を行うことができた。○学力検査が急に入ってきて戸惑った。説明を丁寧にしてほしい。				